

コース38 しろいけ とくらやま 白池と戸倉山

リーダー CL M/T SL K/T

実施日 平成26年10月31日(水) 天候 うす曇り

参加者 30 (男性 5 女性 25)

グレード B

コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前		5:55	駅西口 → 新津西 IC 経由 → 北陸道へ
米山 SA	7:15	7:30	休憩、蓮台寺 PA で登山靴にはきかえる。
しろ池の森登山口	9:00	9:10	途中の東屋では眺望可。眼前の山々に SL が説明。
白池	9:20	9:30	眺望可。紅葉とナメコを楽しみながら。
角間池	10:35	10:45	戸倉山への登山口。
戸倉山頂上	11:25	12:20	360° の大展望を楽しみながら昼食。記念撮影。
白池一周	13:30	14:00	白池に映る紅葉を楽しむ。
しろ池の森登山口	14:35	14:55	全員無事下山。
米山 SA	16:30	16:45	トイレ休憩。
秋葉区役所前	18:10		新津西 IC → 駅西口経由

山行等概要（幹事のコメント）

- 白池は糸魚川の塩の道の途中にあり、戸倉山は新潟、長野の県境にある。白池の上方の見事なブナ林の中の角間池湖畔の登山口から山頂を往復した。
- 全行程危険な場所もなく、紅葉は最盛期をやや過ぎていたが、十分に楽しむことが出来た。また、茸に詳しい人がおり収穫？。
- 山頂からの360°の大展望、百名山の雨飾山をはじめ、北アルプスの山々（小蓮華、白馬、行き蔵、朝日）、東には黒姫や明星山を望むことが出来た。かって登ったことのある人は懐かしく思い出していた。
- 白池の一周では、水面に周辺の山々と紅葉が映り、その美しさは筆舌で表現出来ないくらいだった。往時、白池での休憩時、草むらに落としたリーダーの補聴器の入れ替え用電池を、皆さんが必死になって探して下されたことに対し、感謝しております。ありがとうございました。



戸倉山頂上にて 正面に雨飾山。背景は北アルプス

「白池と戸倉山登山に参加して」

(1590) K/N

昨年、ハイキングクラブに入会しました。

山に登りながらのおしゃべり、植物の名前を聞いても、歩く後から忘れてしまいます。それでも覚えてきた名前を写真と一緒にアルバムに書き入れたりしています。

朝4:30起床、身支度を整えて朝食、神棚に「今日もよろしく」と祈った後、家を出ました。6:05駅西口から小型バスとジャンボタクシーで出発です。

北陸自動車道、蓮台寺PAで靴を履き替え、白池の森登山口まではバスです。天気は今日一日もちそうです。なだらかな道を歩いて行くと、もう白池に到着。池の水面は青色、池のふちの鮮やかな紅葉と山の姿が池に映り、皆さんはシャッターチャンスとばかりにパチリ。けれど主役は、サブリーダーさん曰く、もちろん“白池”です。鐘もあったので鳴らし、白池から角間池まではなだらかで、昔は塩の道だったそうです。

戸倉山登り口で、上を見れば、あざやかな紅葉のグラデーションがモザイク状に広がり、横を見ればブナ林の黄葉とすばらしい景観です。

戸倉山山頂まではそうきつい登りもなく山頂に到着。山頂は360°見渡せる展望でした。昼食後、サブリーダーより山の説明があり、雨飾山、鬼ヶ面山、のこぎり山、駒ヶ岳、セメント外車掘削した山肌、日本海etc。バスの中でも説明がありましたが、向きが変わると分からなくなり、山と名前を一致させるのは難しいです。この山にはタラの木が多く、ナメコも自生しているようです。下山後、白池を一周して帰路につきました。途中、リーダーが落とし物をされるハプニングもありましたが、天気にも恵まれ、すばらしい紅葉と眺望を満喫した一日でした。

お世話いただいたリーダー、サブリーダー、クラブの皆様ありがとうございました。



白池を一周して、池越しに戸倉山を仰ぐ。
背後左より駒ヶ岳、鬼ヶ面、鋸山、雨飾山